

個人投資家の皆様へ 会社説明会

2024年2月21日



第一実業株式会社

証券コード：8059
(東証プライム)

本資料に記載している当社のデータ、戦略、将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくもので、実際の業績は種々の要因により大きく異なる可能性があります。これらの目標や予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。

独立系 総合機械商社

自由な立ち位置で、さまざまな産業分野のお客様に
最適な機械や設備とソリューションを提供する企業

- I. 会社概要**
- II. 成長戦略**
- III. 株主還元・株価**



I . 会社概要

創立



75年
Since 1948

従業員数



単体
619名
連結
1,383名
(2023年9月30日現在)

海外拠点数



17カ国
37拠点
(2023年9月30日現在)

取引企業数



得意先
約 3,900社
仕入先
約 4,700社

財務情報



連結売上高
1,536億円
海外売上高比率
(仕向け先ベース)
53.6%
(2023年3月31日現在)

長期発行体格付
(株式会社日本格付研究所(JCR))
(2023年9月13日現在)

A⁻ (安定的)

沿革（創業～70年代：事業領域の拡大）



1948年 創業

- 機械専門の商事会社として創業



1950年代 事業基盤の確立

- 基幹産業である石油精製などのビジネスを展開
- プラスチック業界へ進出



1960年代 営業手法の拡大・海外展開開始

- 東証二部上場
- 初の海外駐在員事務所を台湾・台北に設立
- 自動車業界へ進出



1970年代 取扱製品・ビジネスモデルの拡充

- 東証一部上場
- メンテナンスサービスを開始（現・株式会社第一メカテック設立）
- 医薬業界へ進出

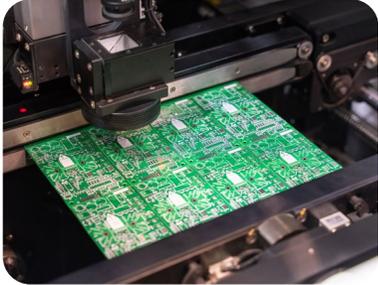
社是三原則

積極活動
堅実運営
協力一致

【創業時営業方針】

1. 機械販売に徹する
2. 大手企業との取引
3. 銀行との信頼関係を大切にする

沿革（1980年～2000年代：海外展開の拡大）



1980年代 新たな業界へ進出

- エレクトロニクス業界へ進出
- 航空業界へ進出



1990年代 海外拠点の拡充

- タイ・バンコクに現地法人 DAIICHI JITSUGYO (THAILAND) CO., LTD. 設立
- 中国・上海に現地法人 上海一実貿易有限公司 設立



2000年代 海外ネットワークの確立

- 第一実業ビスウィル株式会社発足（カネボウビジョンシステム（株）の全株式取得）
- リチウムイオン電池分野に進出
- シンガポールに現地法人 DAIICHI JITSUGYO ASIA PTE. LTD. 設立
- ドイツ・エシュボルンに現地法人 DJK EUROPE GMBH 設立

沿革（2010年代～現在：ビジネスモデルの進化）



2010年代 再生可能エネルギー関連ビジネスへ注力

- LIBプロジェクト室の設置
- 太陽光発電事業開始（笠間太陽光発電所・飯田太陽光発電所）
- バイナリー発電装置の取扱開始



2020年代 次世代型エンジニアリング商社を目指して

- 経営理念の制定・成長戦略「V2030」・中期経営計画「MT2024」の策定
- エンジニアリング本部の発足
- 株式会社ウエイブエンジニアリングの株式を取得
- つばめBHB株式会社との資本業務協定を締結
- 田原バイオマス発電所合同会社への出資

7つの事業領域

幅広い業界に事業を展開し、安定経営を継続

プラント・エネルギー



石油・化学
エネルギー
製紙
バイオマス

11.2%

産業機械



家電
住宅設備
医療機器
食品包装
物流資材
いちご苗

15.5%

自動車



自動車
自動車部品

20.5%

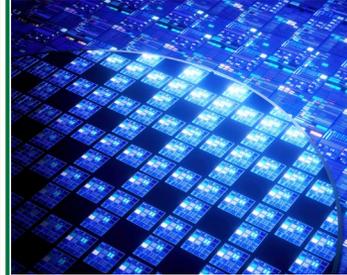
ヘルスケア



医薬品
化粧品
健康食品
再生医療

7.4%

エレクトロニクス



電子機器
電子部品
半導体
スマート物流

32.6%

航空・インフラ



航空
防衛
防災
社会インフラ

1.6%

エネルギーソリューションズ



リチウムイオン・
バッテリー
全固体電池

12.0%

* 円グラフ内の数値は売上高構成比率

当社の立ち位置

さまざまな機械メーカーと製造業をつなぐ



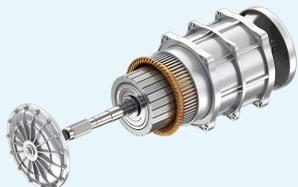
消費者の皆さまへ



EV駆動モジュール



e-Axle



モーター



インバーター



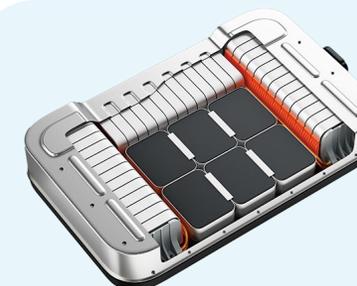
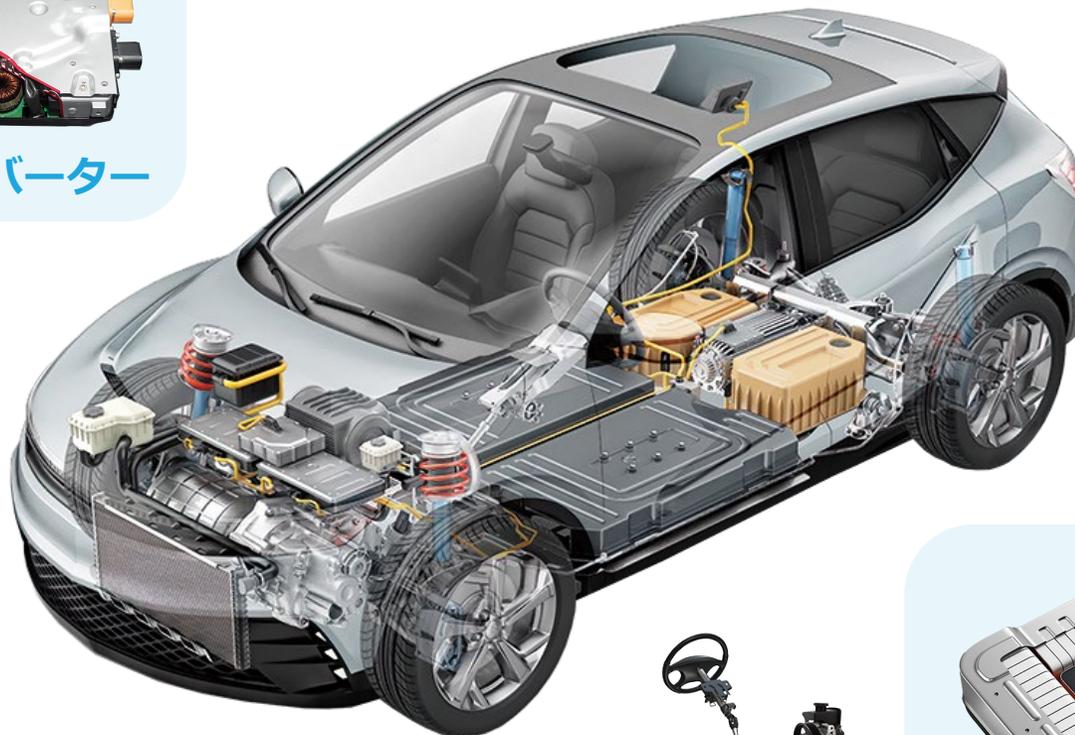
ギガキャスト製品



電気コンプレッサー



パワー半導体



リチウムイオン・
バッテリー



電動ウォーターポンプ



電動ブレーキシステム



電動パーキングブレーキ



電動パワー
ステアリングシステム

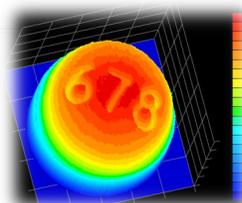


医薬



viswill

第一実業ビスウィル社製
錠剤外観検査システム



各種医薬品包装機



医療機器



ディスポーザブル医療機器



セルフメディケーション分野

トータルコーディネート

お客様の課題に一括対応

- ソリューション提案
- プロジェクト管理

ものづくり企業に貢献

- 構想設計・メーカー選定
- グローバル支援体制

持続可能な社会の実現

- 新工場の立ち上げ支援
- 多様なニーズへの対応

モノ売り

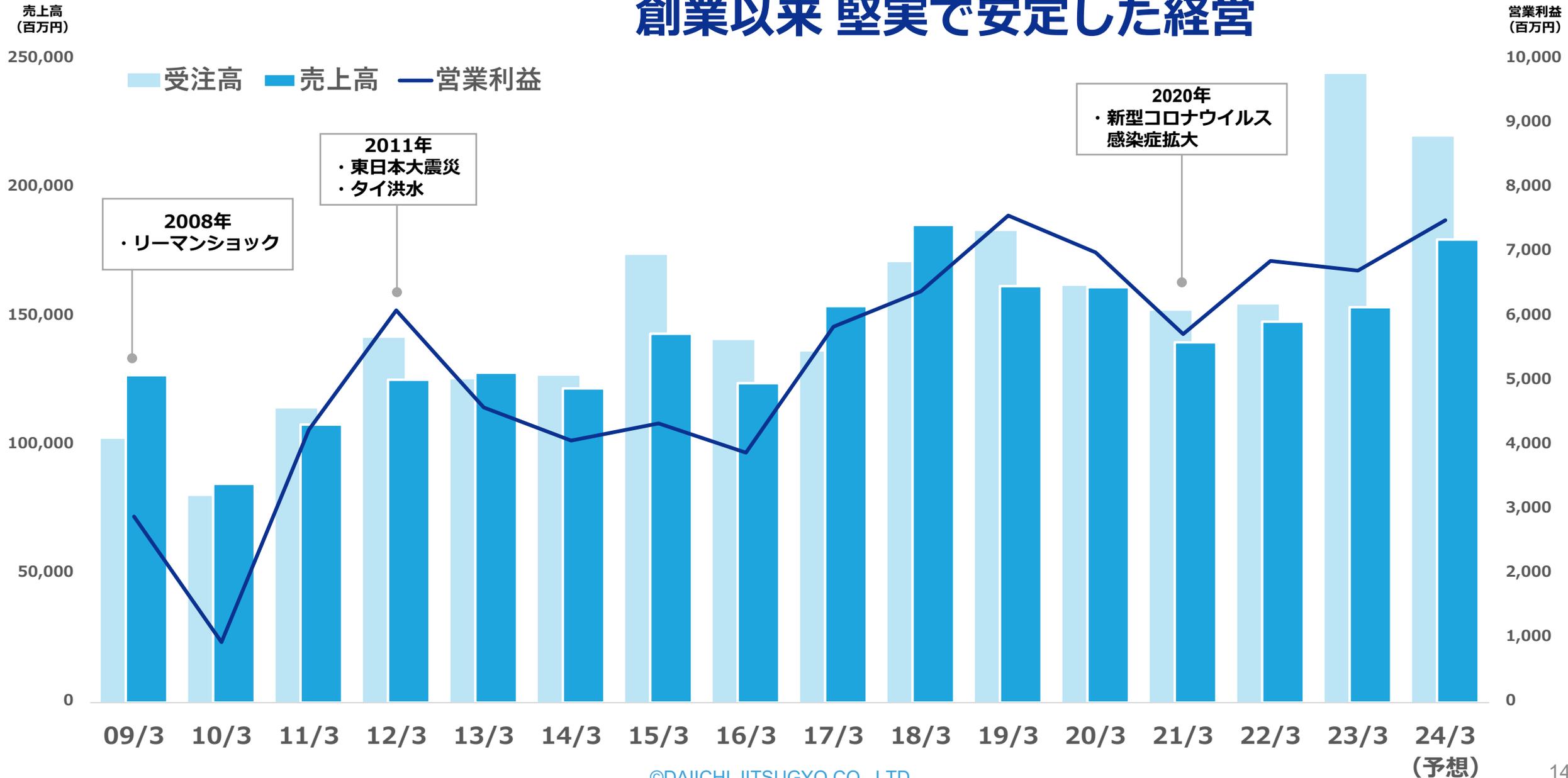
- 設備販売
- アフターサービス



Ⅱ. 成長戦略

連結業績の推移

創業以来 堅実で安定した経営



Mission

果たすべき使命

人をつなぎ、技術をつなぎ、世界を豊かに

Vision

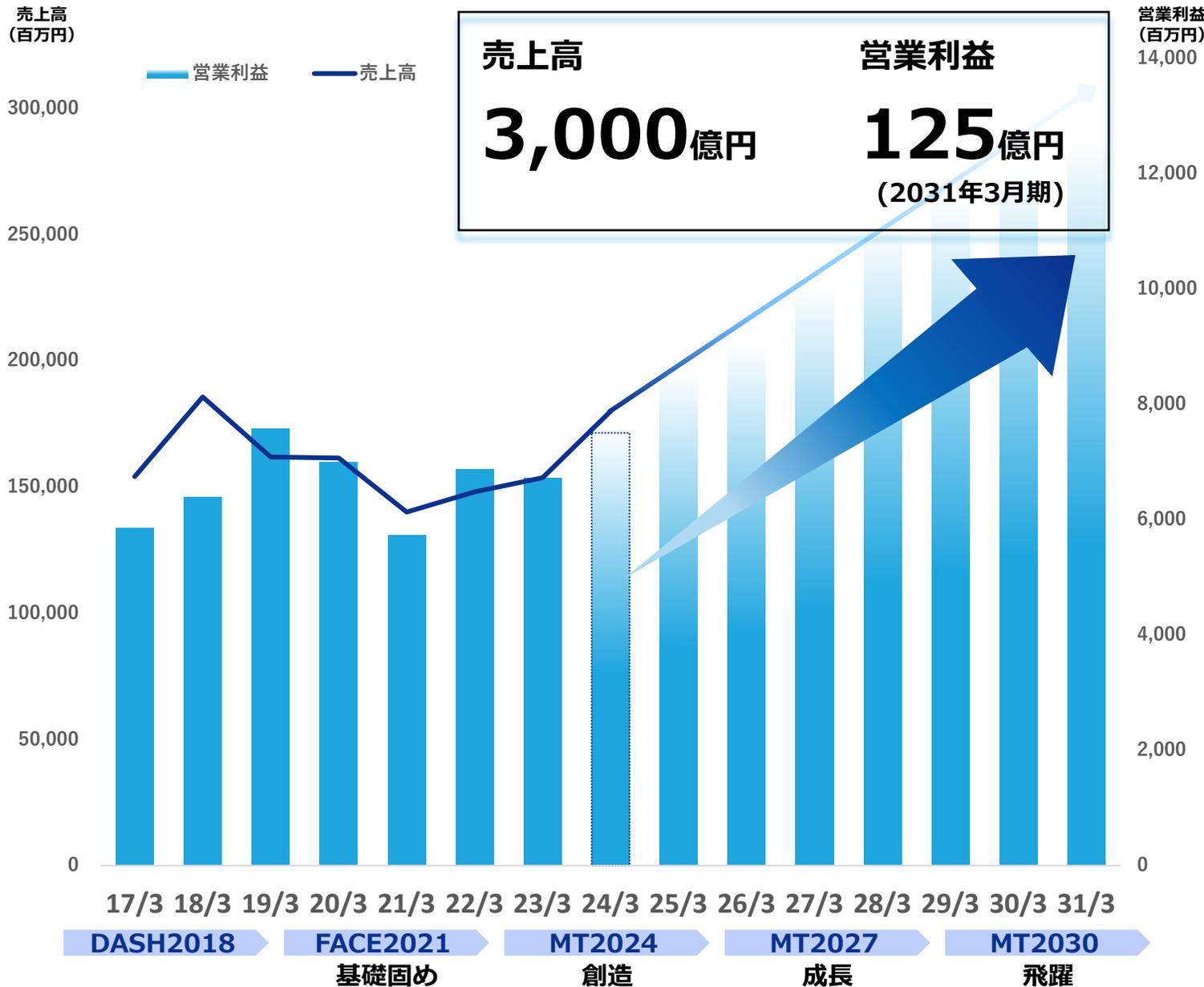
あるべき姿

次世代型エンジニアリング商社

時代の一步先を行くモノづくりパートナーを目指し、
当社独自のエンジニアリング機能を核として継続的な価値を提供する

成長戦略「V2030」

基本戦略



1. 積極的な投資
2. PL経営 + BS経営
3. マルチステークホルダーを意識した経営
4. モノ売りから「モノ x コト」売り
5. グローバルの成長を取り込む
6. DX推進

中期経営計画「MT2024」

基本方針

1. 成長に向けた事業戦略

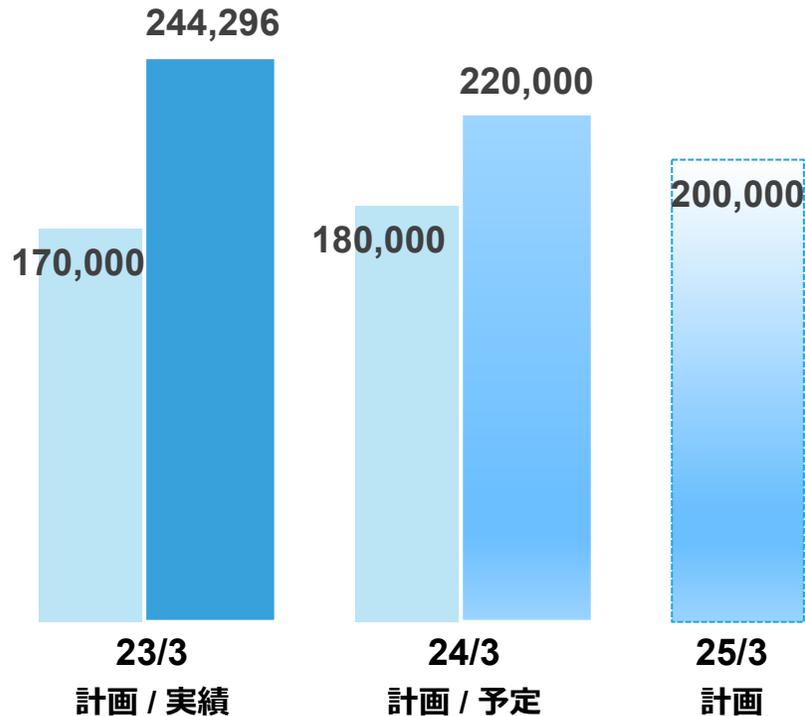
- ① エンジニアリング機能の強化
- ② 戦略的事業投資
- ③ グローバル企業とのビジネス拡大
- ④ DX強化

2. 経営基盤の強化

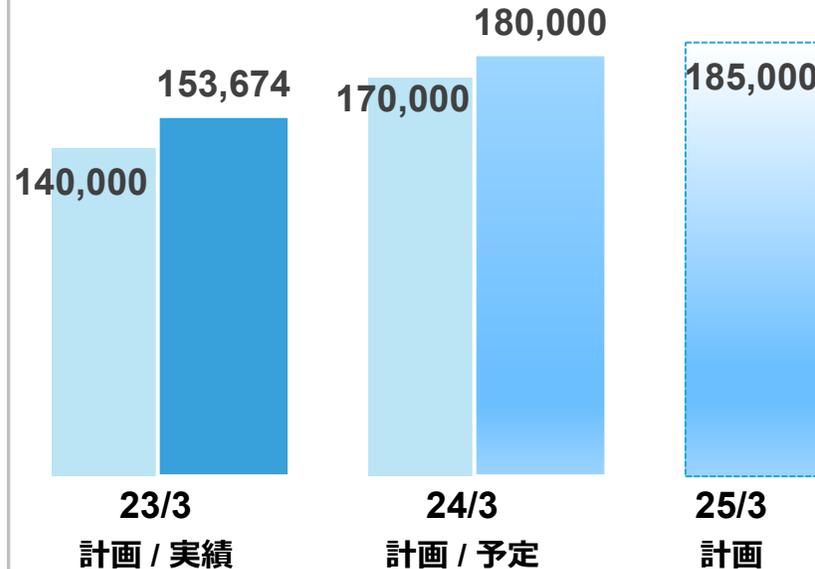
- ① ガバナンスの深化
- ② リスクマネジメントの強化
- ③ 財務戦略の強化
- ④ 人材戦略の強化
- ⑤ サステナビリティ経営の推進

単位：百万円

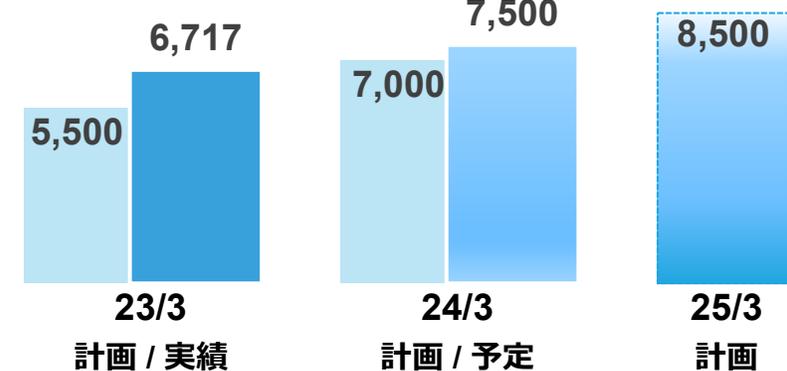
受注高



売上高

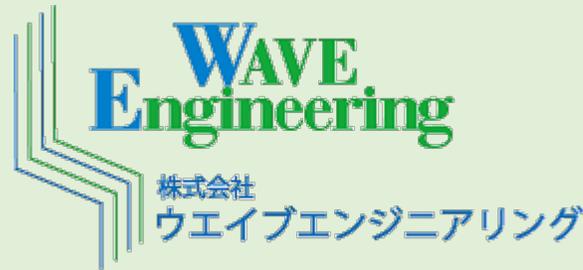


営業利益



投資案件

2023年7月 株式会社ウェイブエンジニアリングの株式を取得



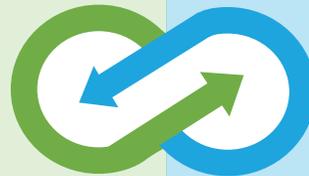
FS : Feasibility Study

プロジェクトの実行可能性を事前に調査・検討

FEED : Front End Engineering Design

FS後に行われる基本設計

シミュレーションエンジニアリング



営業力

情報力

スピード

国内外ネットワーク

エンジニアリング機能の強化

FS – FEED – EPC*のワンストップサービスの新たな付加価値を提供

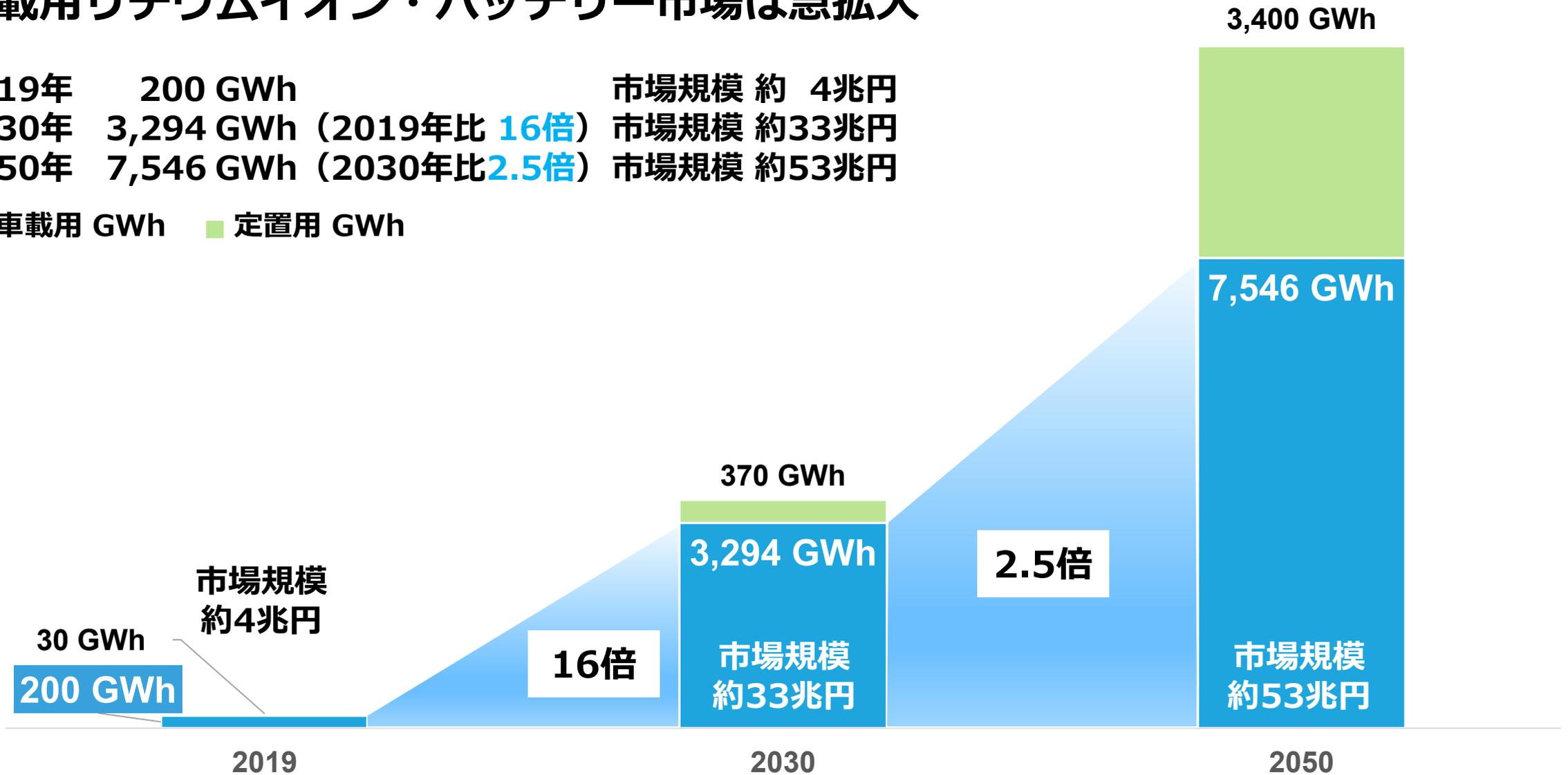
* EPC : Engineering (設計) Procurement (調達) Construction (建設)

注力分野 リチウムイオン・バッテリー製造

車載用リチウムイオン・バッテリー市場は急拡大

2019年	200 GWh	市場規模 約 4兆円
2030年	3,294 GWh (2019年比 16倍)	市場規模 約33兆円
2050年	7,546 GWh (2030年比 2.5倍)	市場規模 約53兆円

■ 車載用 GWh ■ 定置用 GWh

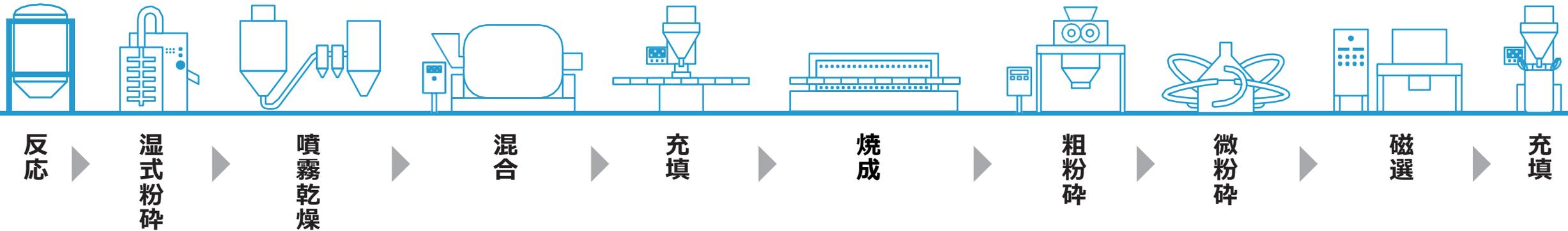


* 経済産業省「蓄電池産業戦略」3ページ【蓄電池市場の拡大】をもとに当社作成

注力分野 リチウムイオン・バッテリー製造設備

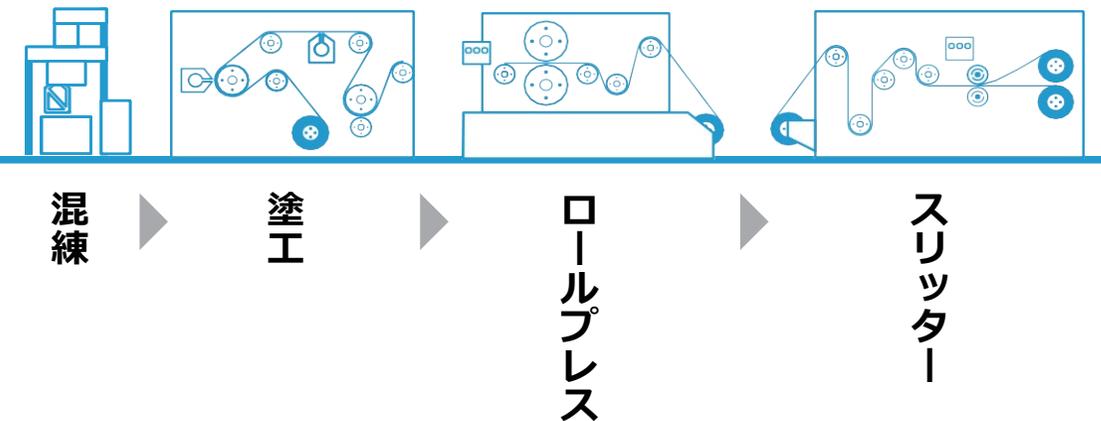
材料からセル製造まで幅広い設備をラインナップ

材料プロセス工程

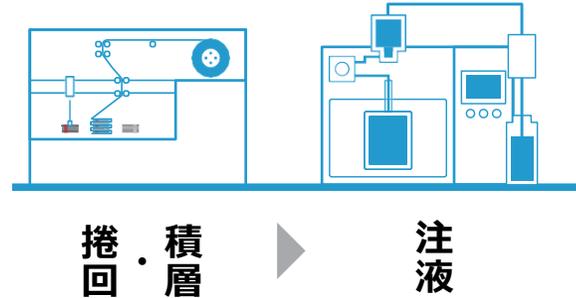


セル製造プロセス工程

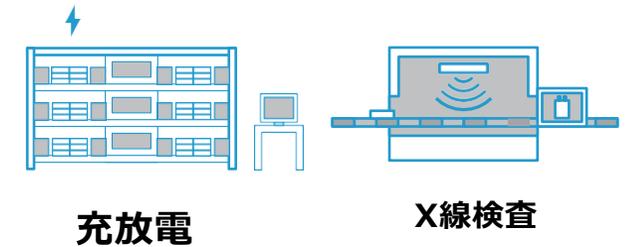
電極工程



組立工程



検査工程



環境負荷低減に向けた取り組み

3月 太陽光発電事業開始
4月 バイナリー発電装置の取扱開始

3月 第一実業飯田太陽光発電所

8月 環境省・GEC(地球環境センター)
「二国間クレジット制度・設備補助事業」初採択



田原バイオマス発電所建設予定地（愛知県田原市）

2013

2014

2019

2021

2022

2023

4月 サステナビリティ推進部発足

3月 田原バイオマス発電所合同会社への出資
4月 サステナビリティ推進委員会を設置
8月 TCFD提言への賛同

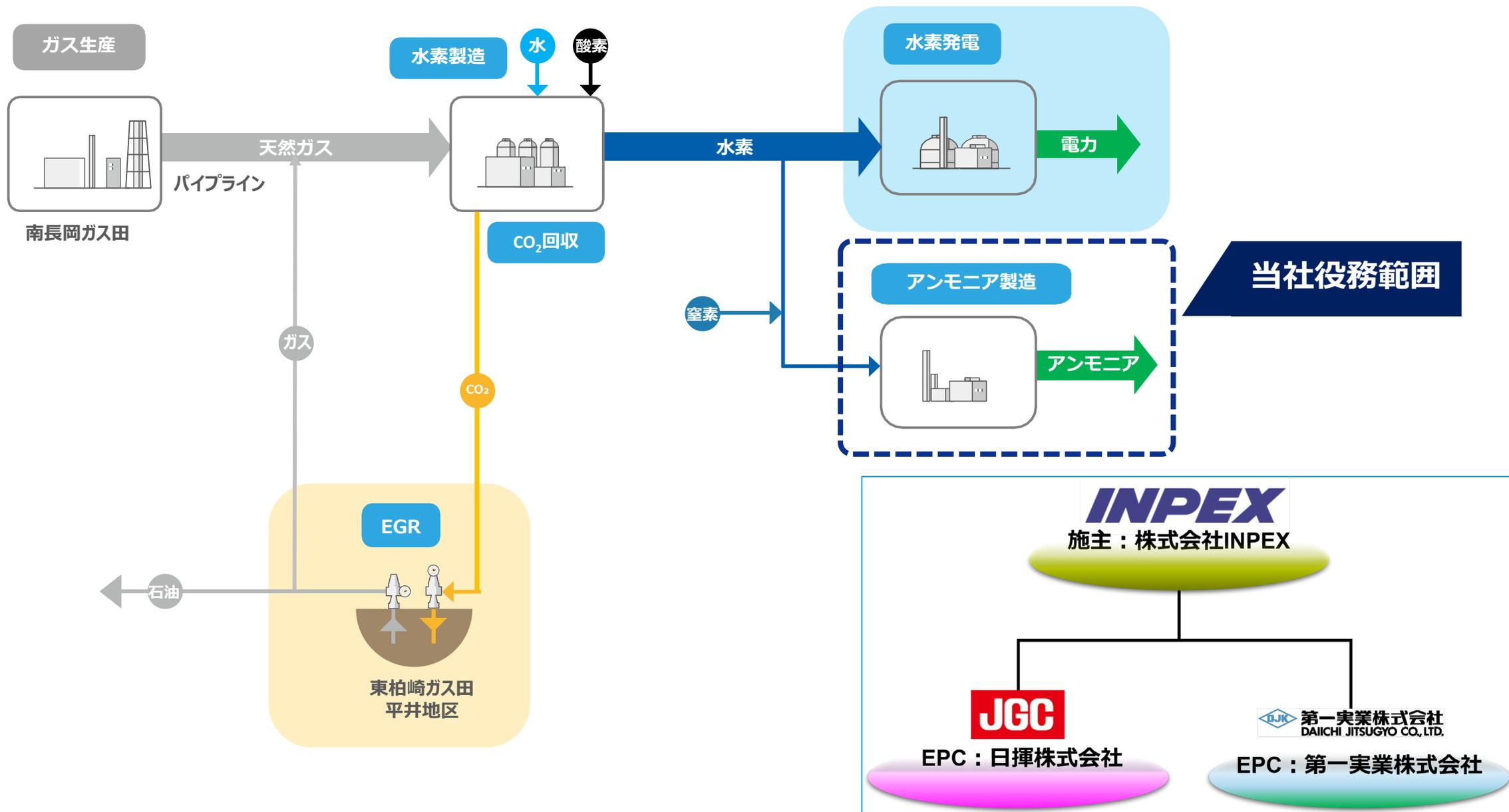
6月 つばめBHB株式会社との資本業務協定を締結
オンサイト型アンモニア合成システムの実用化
低環境負荷アンモニア技術の普及促進

12月 持続的な成長を維持するため
マテリアリティ（重要課題）の特定



第一実業飯田太陽光発電所（長野県飯田市）

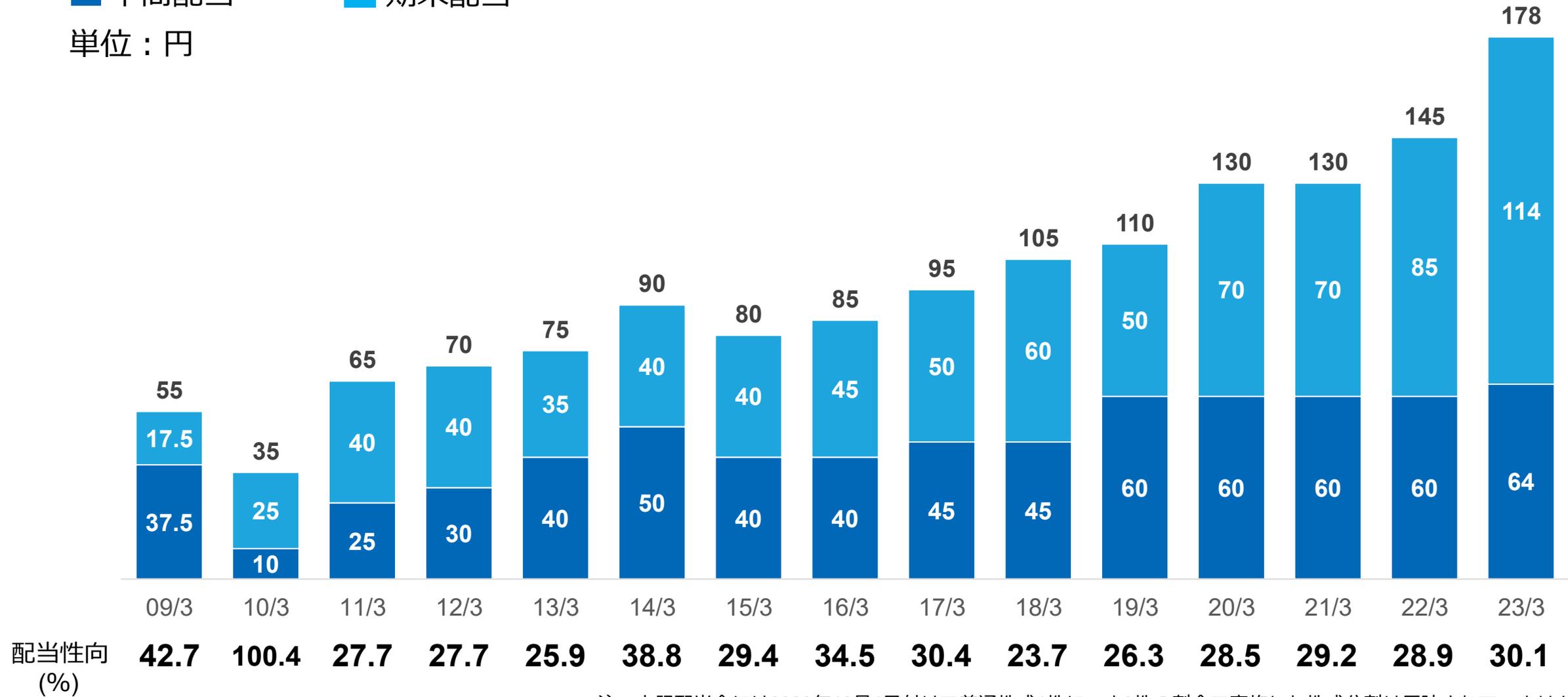
国内初 ブルー水素・アンモニア製造・利用一貫実証試験



Ⅲ. 株主還元・株価

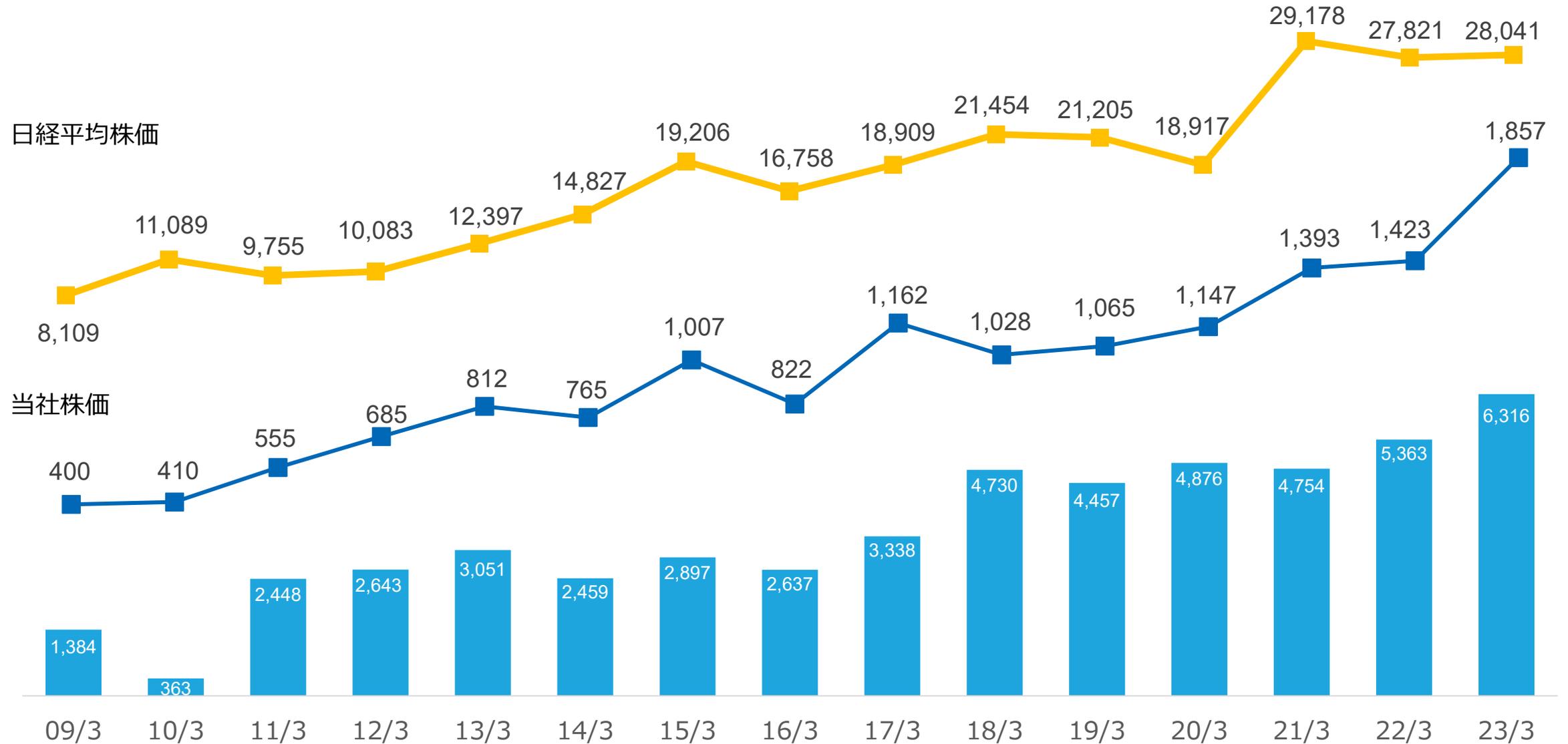
配当金・配当性向

■ 中間配当 ■ 期末配当
 単位：円



注：上記配当金には2023年10月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で実施した株式分割は反映されていません。

当社株価と日経平均株価の推移



注：2023年10月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。掲載の株価は株式分割を反映したものです。

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

■ 過去5年の自己資本利益率（ROE）及び株価純資産倍率（PBR）

	19/03	20/03	21/03	22/03	23/03
ROE (%)	10.1	10.4	9.3	9.6	10.3
PBR (倍)	0.75	0.76	0.83	0.78	0.93

■ 改善に向けた取り組み

1. 積極的な投資
2. 人的資本投資
3. 経営資源の最適配分
4. IR活動の強化

■ 本日のまとめ

■ 独立系 総合機械商社

自由な立ち位置、幅広い設備の取り扱いに強み

■ 長期安定経営

ものづくり企業の縁の下の力持ち、時代のニーズをとらえて業容拡大

■ 独自のエンジニアリング

製造現場のトータルコーディネイト、製造業にとってなくてはならない存在

■ 成長戦略

戦略的事業投資をはじめとした基本戦略の着実な実行

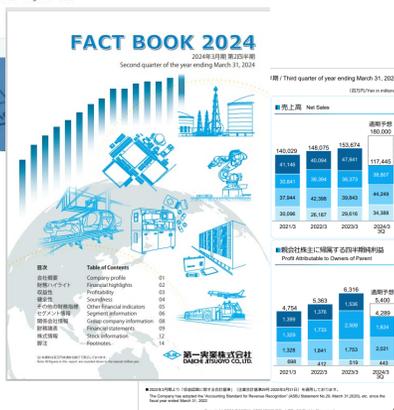


人をつなぎ、技術をつなぎ、世界を豊かに



DJK Report 2023(統合報告書)では、
当社の財務・非財務情報を総合的にご確認いただけます。

https://www.djk.co.jp/ir/integrated_report.html



決算関連資料
(決算説明資料・ファクトシート・ファクトブック)

<https://www.djk.co.jp/ir/briefing.html>



個人投資家の皆さまへ 会社紹介資料

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS03440/8d9a2afa/5aad/4035/bf30/e66425de1163/20220706152724566s.pdf>

